

豆知識 1 並木道と街路樹



がらん 豪徳寺伽藍図(「江戸名所図会」より)

わが国における並木道に関する記録は、奈良時代まで遡ります。その後も並木道の歴史は途絶えることなく、徳川家康の街道整備に際してもマツヤスギが植えられ、浮世絵の風景には欠かせない要素となっています。また、寺社参道の並木も古来より受け継ぐ風景で、江戸時代の天保年間に刊行された「江戸名所図会」にも、豪徳寺や慶元寺・氷川神社周辺の並木道が描かれています。

市街地の街路に植栽する「近代街路樹」は、幕末の開国以降に導入され、都内では銀座など都心部から郊外に広がりました。中でも、イチョウは防火機能と黄葉の美しさから数多く植えられ、昭和41年に都民投票で選ばれた「東京都の木」がイチョウであるのも、街路樹としての親近感によるものでしょう。ちなみに、平成元年に選定された東京都のシンボルマークも、イチョウの葉がモチーフ、のような気もしますが…。



東京都シンボルマーク



さないちよう 左内町(上北沢)のサクラ

豆知識 2 世田谷の街路樹

世田谷区内の幹線道路の整備は昭和30年代以降で、街路樹の整備も都心部より遅れました。一方で、大正から昭和初期に開発された新町(桜新町)、左内町(上北沢)、成城学園などの分譲地では、サクラを

STUDY

学ぶ・深める

街路樹の効用

何気なく道沿いにある街路樹。その街路樹には、様々な効用があります。

- 日々の潤い
私たちに四季の移ろいを伝え、安らぎや潤いを与えてくれる効果があります。また、夏の日差しを遮り、ドライバーの視線を誘導する効果があります。
- 生きものの生息環境
街路樹は、生きものの大切な生息空間になっています。また、街路樹があることで、世田谷のみど

時間を旅する
風景街歩きシリーズ
風景
PRESS

街並みを演出する
街路樹めぐり



04
街路樹

予告

いろ まちあるき たくさんのご参加、
～街の色って何だろう～ おまちしております!

成城から国分寺崖線周辺を中心に、建物や公共物、みどりなどの街を彩る「色」に着目しながら、色彩の専門家と一緒にまち歩きをします。

講師 田邊 学氏
(株式会社カラープランニングセンター代表取締役)

日時 2018年10月28日(日)
午前9時30分～正午(小雨決行)

場所 小田急小田原線成城学園前駅西口～
国分寺崖線～成城学園前駅

対象 区内在住・在勤・在学
(小学生以上、3km程度のまち歩きができる方)

お申し込み 9月25日(火)～10月15日(月)
せたがやコールへ(抽選20名)
電話 03-5432-3333
ファクシミリ 03-5432-3100
(年中無休、午前8時～午後9時)

お問い合わせ 世田谷区都市デザイン課
電話 03-5432-2039
ファクシミリ 03-5432-3084

ご報告

せたがや地域風景資産
クイズラリー2018

たくさんのご応募、
ありがとうございました!

2018年3月1日から5月31日まで「素敵な風景をめぐろう～せたがや地域風景資産クイズラリー2018」を開催しました。幅広い世代の方々に区内にある地域風景資産を訪れていただき、合計110件のご応募をいただきました。

世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
電話 03-5432-2039
ファクシミリ 03-5432-3084
ホームページ 風景PRESS 検索



風景 04
PRESS

H30(2018)年9月(第59号)

中心に多くの樹木が生活道路に植栽され、幹線道路とは一味違う街路樹の風景を見ることができます。

現在では、区内の国道や主な都道の他、幅員の広い区道においても計画的に街路樹が整備されています。平成28年の調査では、区内の街路樹(高木)は2万5千本余りで、うち約1万9千本が区道にあります。最も本数が多いのはハナミズキの約3千本で、区道がその85%を占めます。国道では246号のイチョウ、20号のケヤキが主な樹種となっており、都道の本数No.1は意外にもイチョウではなく、フウ(見開き参照)。ところが、区道にはフウの街路樹はありません。街路樹は、道路や歩道の幅員に応じて、樹種を選ぶことが必要なのです。なお、10年前の調査と比べると、ケヤキ、イチョウの本数は微増でしたが、ハナミズキは約700本増加しています。街路樹の優等生、ハナミズキの躍進が今後も続くかもしれません。

世田谷区の街路樹(高木) 全体:25,252本

区道で多い種類	ハナミズキ	2,974本
国道で多い種類	イチョウ、ケヤキ	3,595本
都道で多い種類	フウ	2,094本

平成28年度 世田谷区みどりの資源調査

豆知識 3 風景と街路樹

並木道の時代から今日まで、街路樹は長い時間をかけて風景に溶け込んできました。世田谷区民にとっても、街路樹が身近な風景であることを示すデータがあります。昭和59年に選定された「せたがや百景」には、「並木道」の風景が16景選ばれています。また、現在までに86ヶ所選定された「地域風景資産」にも、14景の並木道が含まれています。並木道や街路樹は、見慣れた風景であるとともに、多くの区民にとって大切な風景であるに違いありません。



●防災・減災
災害時には、街路樹のある道路は避難経路になります。阪神淡路大震災時には、倒壊した家屋を街路樹が支え、避難空間を確保した例もありました。



街並みの雰囲気の違いを楽しみながら、街路樹めぐりをしよう!

よく見かける5大街路樹はこれだ!

1 四季を満喫できる サクラ

街の中で季節の移ろいを感じさせてくれるサクラ。一本でも目を引きませんが、並木の魅力は特別です。西用賀通りでは、まっすぐな道に沿って約1.6kmの並木が続きます。




西用賀通りのサクラ

2 街路樹の優等生 ハナミズキ

春には花が楽しめ、夏には木陰をつくり、樹形にクセがないなどが優等生の理由です。二子玉川駅前に植樹されてから、おしゃれな木として広まっています。




花みず木通り(東急砧線跡)のハナミズキ

3 天空のみどりのトンネル ケヤキ

高木が続く甲州街道のケヤキ並木。昭和39年の東京オリンピック時に整備されました。みどりのトンネルが続き、都会のオアシスになっています。




甲州街道のケヤキ

4 風格をつくる王様 イチョウ

まっすぐな幹と三角形に広がる枝ぶりが、風格ある街並みをつくれます。区内では青山の絵画館前が有名ですが、区内でも美しいイチョウ並木を見ることができます。成城学園前のイチョウは、成城学園の学生と住民の手によって植樹されました。




成城学園前のイチョウ

5 大通りの緩衝帯 フウ

区内では、環八通り、世田谷通りなどの交通量の多い通り沿いに植えられています。粉塵や騒音を軽減する役割を担う、縁の下の力持ちです。




環八通りのフウ

街路樹のある風景マップ



街路樹のある風景

- ①-⑩ その他
- ⑪ セタがや百景 16景
- ⑫ 地域風景資産 14景


全ての「セタがや百景」、「地域風景資産」について掲載している「セタがや風景マップ」は、都市デザイン課窓口、区政情報センター・コーナー、まちづくりセンター、図書館で配布しています。

街路樹を守り育てる活動

区内各地で、街路樹を守り育てる活動が行われています。ここでは、地域風景資産の中から、3つの活動をご紹介します。


8 季節の野草に出会う小径 (船橋三丁目)

四季の草花が咲く土の小径を、地域の人々が手入れしています。道路に位置付けられている場所なので、この樹木ももちろん街路樹です。




6 成城の桜並木といちよう並木 (成城六丁目)

小学生や成城大学卒業生、町会と一緒に落葉掃きをしたり、伐採の要望がでた際には行政と相談して対応するなど、多岐にわたる活動に取り組んでいます。




7 旧・新町住宅地の桜並木 (深沢八丁目、新町一丁目)

分譲住宅地として発展してきた歴史を大事にしながら、まち歩きや清掃活動などを行っています。




落ち葉ひろいリレー

「みどりの恵みに感謝の気持ちを込めて」をテーマに、各地の落ち葉ひろい情報を集め広くPRしています。2018年度も、上記2箇所をはじめ6箇所の街路樹での活動が「落ち葉ひろいリレー」に参加します。



9 おとぎの国に来たみたい カツラ

丸いシルエットの樹形や丸みをおびた葉っぱが、可愛らしい雰囲気をつくれます。紅葉の時期にはキャラメルのような甘い香りに包まれ、可愛らしさが一層増します。



船橋五丁目のカツラ

10 個性的で目立ちます サルスベリ

幹がねじれ、ツルツルした触り心地が特徴。初夏には濃いピンクや白の花が咲き、目を引きまひやくじょう。別名「百日紅」と言われるとおり、長い間花のある風景を楽しめます。



芦花公園駅前から続く千歳通りのサルスベリ